



文化財保護センターだより

第7号

平成5年7月1日

財団法人 岐阜県文化財保護センター

〒501-02 岐阜県本巣郡穂積町牛牧宮下395

TEL(FAX)05832-7-8980

●もくじ

見つけた！縄文土器だ.....	1	トピックス.....	6
平成5年度役員名簿・事業計画.....	2	センターだより.....	7
発掘状況.....	3	発掘作業に参加して(その2).....	8



見つけた！縄文土器だ

かつまらほくきん
勝更白山神社周辺遺跡（郡上郡八幡町）の調査は、八幡町で初めての本格的な発掘ということもあり、地元の皆さんの関心も高く、多くの方が見学にみえます。4月21日には八幡町立第二小学校児童34名が発掘体験をしました。遺物を掘り出すことのできた子もできなかった子もいましたが、目を輝かせて取り組んでくれました。テレビで見る考古学の世界を身近に感じることができたようです。私たちの先人の文化遺産が自分たちの身近にあること、遺跡を大切に守らなければならないことを、体験を通して理解してくれました。

■平成5年度役員・職員名簿 (平成5年6月現在)

●役員

会長	梶原 拓 (県知事)
副会長	澤田 確 (県教育長)
理事	吉田 豊
専務理事	山崎 春夫
理事	浅野 勇 (岐阜県市長会会長)
理事	荒井 正義 (岐阜県町村長会会長)
理事	水野 定之 (岐阜県都市教育長会会長)
理事	西脇 成紀 (岐阜県町村教育長会会長)
理事	大野 政雄 (岐阜県文化財保護審議会会長)
理事	桑田 宜典 (岐阜県総務部長)
理事	内藤 正行 (岐阜県農政部長)
理事	山岸 俊之 (岐阜県土木部長)
理事	白木 昇 (岐阜県開発企業局長)
理事	高井 正文 (岐阜県教育委員会次長)
理事	馬淵 芳美 (岐阜県教育委員会指導部長)
理事	横山勢津男 (岐阜県博物館長)
監事	永倉 八郎 (岐阜県出納長)
監事	三村 洋史 (岐阜県教育委員会管理部長)

●職員

理事 長	吉田 豊
専務理事兼事務局 長	山崎 春夫
総務部	平林 哲夫
	原田 支夫
調査部	岩手 正実
	江木 洋治
第1課	北洞 勝臣
	武藤 貞昭
	篠田 通弘
	安江 祥司
第2課	小谷 和彦
	鈴木 昇
第3課	曾文和
	小松野 晶信
	宇野 治幸
	中島 康夫
飛騨出張所	各務本 光洋
	上嶋 善治
	谷口 和人
	野村 宗作
	政井 美子
	岩谷 美里
	市原 輝明
	川部 誠二
	加藤 栄彦
	千藤 克彦
	長屋 幸二
	藤田 英博
	佐野 康雄

■平成5年度事業計画

事業名	起業者名	調査地	遺跡名	時代等
徳山ダム水没地区内埋蔵文化財緊急発掘調査			上原遺跡 山手宮前遺跡 寺屋敷跡	縄文時代の集落跡 縄文・中近世の集落跡 中近世の寺院伝承他
報告書作成	水資源開発公団	揖斐郡藤橋村	いんべ遺跡 長吉遺跡 普賢寺跡 磯谷口遺跡	縄文時代の集落跡 縄文時代遺物散布地 縄文時代遺物散布地
東海北陸自動車道建設予定地内埋蔵文化財緊急発掘調査	日本道路公団	郡上郡八幡町 郡上郡白鳥町	勝更白山神社周辺遺跡 西ヶ洞遺跡	縄文時代遺物散布地 縄文遺物包蔵地・古墳
国道41号改良工事予定地内埋蔵文化財緊急発掘調査報告書作成	建設省	美濃加茂市	尾崎遺跡	弥生・古墳時代集落跡
中部縦貫自動車道建設予定地内埋蔵文化財緊急発掘調査・報告書作成	建設省	清見村他	上切寺古墳他	試掘
多治見喜多町宅地造成工事予定地内埋蔵文化財緊急発掘調査	住宅都市整備公団	多治見市	池田1号古墳 喜多町3号古窯	古墳時代 古代～中世の窯跡
V Rテクノジャパン造成工事予定地内埋蔵文化財緊急発掘調査	岐阜県土地開発公社	各務原市	船山北古墳群	古墳時代
国道256号改良工事予定地内埋蔵文化財緊急発掘調査	岐阜県土木部	洞戸村	底津遺跡 飛瀬遺跡	縄文時代遺物散布地
県道白川加子母線改良工事予定地埋蔵文化財緊急発掘調査・報告書作成	岐阜県土木部	東白川村	陰地遺跡	縄文時代遺物散布地
国道256号改良工事予定地内埋蔵文化財緊急発掘調査・報告書作成	岐阜県土木部	美濃加茂市	仲迫間遺跡	縄文時代遺物散布地
県道湯屋温泉線改良工事予定地内埋蔵文化財緊急発掘調査・報告書作成	岐阜県土木部	小坂町	阿弥陀堂遺跡 裏垣内遺跡	縄文時代遺物散布地
県道鼠餅古川線改良工事予定地内埋蔵文化財緊急発掘調査・報告書作成	岐阜県土木部	国府町	荒城神社遺跡	縄文時代遺物散布地
県道谷高山線改良工事予定地内埋蔵文化財緊急発掘調査・報告書作成	岐阜県土木部	国府町	諏訪洞岩跡	中世砦跡
丹生川ダム水没地区内埋蔵文化財緊急発掘調査	岐阜県土木部	丹生川村	西田遺跡	縄文時代集落跡

発掘状況

■県下8遺跡で調査開始

本センターでは、本年度の発掘調査を始めるにあたり、調査の安全と成功を願って、関係各機関の出席をいただき、以下の8遺跡で調査始め式を実施しました。

勝更白山周辺遺跡(郡上郡白鳥町)	4月12日
底津遺跡(武儀郡洞戸村)	4月20日
西田遺跡(大野郡丹生川村)	4月22日
荒城神社遺跡(吉城郡国府町)	5月11日
陰地遺跡(加茂郡東白川村)	5月13日
山手宮前遺跡(揖斐郡藤橋村)	5月14日
西ヶ洞遺跡(郡上郡白鳥町)	5月19日
船山北古墳群(各務原市)	6月3日



底津遺跡での調査始め式

■底津・飛瀬遺跡発掘調査

底津・飛瀬遺跡は武儀郡洞戸村役場の北2kmの栗原にあります。S字状に蛇行する板取川の左岸段丘上に底津遺跡、右岸段丘上に飛瀬遺跡と川をはさんで相対して位置しています。

底津遺跡は、昭和54年度の土地改良工事の際に、縄文時代早期(9,000年前~6,000年前)の押型文および縄文時代中期(5,000年前~4,000年前)の土器片が採集され、良好な遺物の包

含層が確認された遺跡です。また、対岸の飛瀬遺跡は、ゆるやかな斜面の上段部と、川の淵に面した下段部の二つの段丘から形成されています。上段部では打製石斧や石鏃が、下段部では、縄文時代早期の尖底土器の底の部分が採集されています。このように、ほぼ同じ時期の出土遺物が両遺跡で確認されています。

今回の調査では、国道256号改良工事に伴う底津遺跡600㎡、飛瀬遺跡2,300㎡の発掘を予定しています。調査は現在、底津遺跡で行っていますが、縄文時代前期から後期にかけての土器片や石鏃・石錐・磨製石斧などの石器類が出土しています。石器類の石材は、砂岩・チャート・安山岩のほか、頁岩のものが含まれていることが特徴的なことと言えます。

今後、調査を進める中で、両遺跡における遺構の検出および遺物の検討などを通じて、両遺跡の性格と関連を明らかにしていきたいと考えています。

■徳山埋蔵文化財発掘調査

揖斐川最上流に位置する揖斐郡藤橋村徳山地区(旧徳山村)で、今年も発掘調査が始まりました。徳山ダム建設に伴う水没予定地内の発掘調査は、昭和61年度より始まり今年度で8年目を迎えます。

これまでに12遺跡の発掘を終わり、縄文時代を中心に、東海・北陸・関西・信州の接点として、活発な交流があったことを証明する貴重な遺構・遺物が検出されています。徳山地区は全村が水没するため、ほぼ全域で調査を実施しますが、このような例はきわめてまれで、全国的にも注目されています。



山手宮前遺跡遠景

本年度は、5月14日に山手宮前遺跡で調査始め式を行い、上原遺跡・寺屋敷跡の3遺跡で発掘調査を始めました。

▶^{あげはら}上原遺跡

本遺跡は、藤橋村大字徳山字上原の揖斐川右岸段丘上にあり、徳山地区最大の遺跡です。平成2年度より始まった調査で、縄文時代の竪穴住居跡・土器棺墓・配石墓など多数の遺構が判明し、出土遺物も21万5千点に達しています。昨年度の調査では、徳山地区で初めて平安時代の掘立柱建物跡が発見されています。今年度は、遺跡の西側を中心に調査を進め、縄文時代の集落を解明する手がかりが得られるものと期待しています。

▶^{やまてみやまへ}山手宮前遺跡

本遺跡は、藤橋村大字山手字宮前にあり、旧山手集落の中心部にあたります。昨年度の部分的調査で縄文時代早期～中期の遺物の他に、中世の渡来銭80枚や近世以降の家屋跡も検出されています。遺構面までの深さが30cmあまりとたいへん浅いのが特徴で、縄文時代と中・近世の遺物が重なりあって出土しています。

▶^{てらやしき}寺屋敷跡

本遺跡は、藤橋村大字山手字沢焼^{さわやき}の揖斐川

本流と磯谷の合流点に伸びる尾根上に位置しています。古くより寺屋敷としての伝承を残していて、二段の削平地となっています。調査では遺跡の時期と性格の解明に努めたいと考えています。

■東海北陸自動車道埋蔵文化財発掘調査

東海北陸自動車道関連の発掘調査を本センターが担当して3年目に入りました。調査は郡上郡美並村内の3遺跡・八幡町内の3遺跡の発掘を終え、本年度は八幡町で昨年度より始めた勝更白山神社周辺遺跡の継続発掘と、新たに白鳥町内で西ヶ洞遺跡の調査を始めました。

▶^{かつさらはくさんじんじやしほへん}勝更白山神社周辺遺跡

本遺跡は、郡上郡八幡町勝更にあり、長良川右岸の河岸段丘上の、山の迫った狭い平坦地にあります。現在は水田と栗林に利用され、勝更白山神社の境内に接しています。この遺跡では、古瀬戸の四耳壺の陶片が収集されており、中世の遺跡と考えられてきました。昨年度の調査によっても山茶碗や中・近世陶磁器・土鍾^{どすい}などが出土しました。さらに中・近世の遺構として、溝3条・多数のピット・土坑も確認されました。人骨^{ひたいこつ}（大腿骨）が出土



勝更白山神社周辺遺跡出土 縄文土器

した土壌墓どこうぼもあります。

中・近世の遺構の下部より、5,000点余りの縄文土器片・石器類が出土しました。土器は、中期末から晩期までのものです。石器は、多数の打製石斧と若干の磨製石斧・石鏃が出土しました。縄文時代の遺構は確認されませんでした。今年度は遺跡の南側を中心に調査を進め、遺跡の性格を解明したいと考えています。

▶西ヶ洞遺跡にしがほら

本遺跡は、郡上郡白鳥町中津屋なかつやの長良川本流の左岸段丘上にあり、大中小学校東側の山麓さんろくに位置しています。黒褐色土層の露出する畑地で、縄文土器と石鏃などの石器が採集されている縄文時代の遺跡です。時期などは不明です。

また、遺跡に隣接する山頂近くには昭和48年に白鳥町教育委員会の分布調査により確認調査された西ヶ洞1号墳があります。同古墳は古墳時代後期（7世紀）のもので、須恵器すゑきの環たま・蓋ふたの破片が出土しています。今年度の調査では、1号墳周辺にあると想定されている古墳の調査も実施します。

■丹生川ダム関連埋蔵文化財発掘調査にゆうかわ

宮川の支流、荒城川の最上流地域に予定されている丹生川ダムの建設に伴い、水没が予定される折敷地地区での埋蔵文化財発掘調査が3ヵ年計画で始まりました。同地内では西田遺跡・カクシグレ遺跡・牛垣内遺跡の3遺跡が確認されています。本年度は西田遺跡の調査を実施します。

▶西田遺跡にしだ

本遺跡は、丹生川村折敷地の五味原地区ごみはらにあり、荒城川の右岸段丘上に位置します。

岐阜県教育委員会が事前に行った試掘調査によれば、遺構の検出面は深さ約50cm程度のところで、地表面から検出面までの間は良好な包含層が確認されています。

発掘調査は4月22日から始まり、水田の表土を除去して掘り下げた現在の段階では、縄文時代早期の押型文土器や後期の土器片をはじめ、石鏃や磨製石斧・打製石斧などの遺物が出土しています。やがては、住居跡も検出できるのではないかと期待しています。



西田遺跡遠景

■陰地遺跡発掘調査おんち

加茂郡東白川村越原にある本遺跡は、白川本流左岸の比較的平坦な段丘上に立地しています。今回の調査は、主要地方道白川加子母線の改良工事に伴い実施することになりました。

東白川村内では14ヵ所の遺跡が確認されていますが、いずれも白川本流とその支流の大明神川の流域に分布しています。東白川村での本格的な発掘調査は今回が初めてとなります。今回の調査面積は、1,500㎡で、現地での発掘は10月までを予定しています。

本遺跡では、山茶碗など中世の遺物と縄文土器が表面採集されていました。今回の発掘調査の西側の区域は、遺物を含む包含層が良

好な状態にあり、遺構の検出が期待されます。

現在までの調査では、30cm程の厚みを持って広がる黒褐色土より、縄文土器片や石鏃・打製石斧・スクレーパー・フレイク類が出土しています。これらの遺物の中で興味深いのは、石器に用いられている石材に、下呂石が抜きん出て多くあることです。本遺跡より、15km離れた下呂町湯ヶ峰（湯ヶ峰）には、この下呂石の原産地があります。縄文時代の人々が、この石材を飛騨川で採集したのか、あるいは下呂まで足をのばしたのか、興味深い想定ができます。



陰地遺跡発掘調査風景

トピックス

■焼礫集積遺構（藤橋村徳山上開田村平遺跡）



4分割した焼礫集積遺構

揖斐郡藤橋村の旧徳山地区で実施されている発掘調査のうち、昨年度ほぼ調査を終え、縄文時代と中世の複合遺跡と確認された上開田村平遺跡で興味深い遺構が検出されています。「きずな」第6号でも紹介しました焼礫集積遺構とよばれるものです。

この遺構は、縄文時代の人々が土坑（どこう）を掘ってその中に多くの石を置いたものです。中に入れられた礫石（れきいし）の多くは火熱を受けているため、野外における蒸し焼き場のような調理施

設であったと考えられています。徳山での過去の調査では、小の原遺跡・下開田遺跡でも確認されていますが、今回発見された直径4mという規模は、徳山では例を見ない最大規模のものです。

遺構の中に入っていた焼火した礫は、合計10,022個に及び、火を受けて割れた礫の割れ口にも強く焼けた跡が見られ、これらの礫が繰り返し使用されたことがわかります。また礫と共に多量の炭化物もありました。中には焼けて炭化した木材が折り重なった状態で検出されたものもありました。

この遺構からは縄文時代早期の土器片が数点確認されていますが、土坑の底の部分に柱を建てた跡とも考えられるピットも検出されており、現在調査を継続しています。今後、土坑の底部の詳細な調査と炭化物の年代測定などの科学分析の結果などにより、この遺構の性格が解明できるのではと期待しています。

■発掘体験に参加して（八幡町 勝更白山神社周辺遺跡）

▲土器をみつけた

八幡町立第二小学校 三年生

いせきへ、土器をほりにいった

「ぜったい見つけれんわ。」

と、思った。

「先生、土器まるごと見つかったらどうする。」

「こまっちゃうなあ。」

つくときさそくほりはじめた。

「出てこななあ。」

土器のかけらが一つ見つかった。

ほっていたらなんと三つも見つかった。

「ヤッホー！」

おわりの合図のふえがなった。

三つも見つかった。ヤッホー！

うら山でうぐいすがなっていた。

▲土器みつけたよ

八幡町立第二小学校 三年生

土器を見つけに行った。

みんないっしょうけんめいさがしはじめた。

ガリガリと音をたててほった。

「あっ、何かあった。」

とさげんだ。

先生に見せたら、

「あっ、これは土器だなあ。」

と、言った。

ガリッと音がし、何かにつきあたった。

おぼさんにきいたら、

「これは石だなあ。」

と、言った。

またガリガリと音をたててほった。

これも石かなあとと思った。

「うーん、これは土器だなあ。」

と、言った。

三つもみつけた。

セ ン タ ー だ よ り

●岐阜県下発掘調査報告会

開設3年目を迎えた本センターでは、岐阜県下で平成4年度に実施された発掘調査の報告会を4月30日に開催しました。当日は、県下各地の発掘調査担当者を中心に77名の参加をえて、スライドなどを用いた事例報告が行われました。当日の発表は以下の皆さんにお願いしました。

「深沼遺跡」の発掘調査概要

岐阜県文化財保護センター 上嶋善治氏

「城之内遺跡」の発掘調査概要

岐阜市教育委員会 内堀信雄氏

「東町田遺跡」の発掘調査概要

大垣市教育委員会 鈴木 元氏

「観音寺山古墳」の発掘調査概要

美濃市教育委員会 高木宏和氏

「寺平遺跡」の発掘調査概要

恵那市教育委員会 西部良治氏

「杉崎廃寺（宮谷寺）跡」の発掘調査概要

古川町教育委員会 河合英夫氏

「元三ヶ根古墳群」の発掘調査概要

岐阜県文化保護センター 藤田英博氏

「上開田村平遺跡」の発掘調査概要

岐阜県文化財保護センター 武藤貞昭氏

●飛驒出張所開設

本センターの飛驒地方における発掘調査は、丹生川ダム関連・中部縦貫道関連・県道改良工事関連で実施を予定しています。飛驒地方における各種開発事業は今後さらに増加し、それに伴う埋蔵文化財発掘調査も多くなることが予測されます。このような状況を前に、本センターでは、飛驒地方の埋蔵文化財発掘調査の拠点として「飛驒出張所」を平成5年4月より開設しました。

(財)岐阜県文化財保護センター飛驒出張所

〒506-01 岐阜県大野郡清見村牧ヶ洞3768

☎・FAX 0577-68-2218

●タイムスリップ探検隊員募集●

徳山の「上原遺跡」で発掘体験をしよう

日 時 平成5年7月28・29日（1泊2日）

宿 泊 地 藤橋村「ふじはし星の家」

対 象 岐阜県内の小学5・6年生と保護者

定 員 50名

締め切り 7月15日までに

申し込み 葉書に住所・電話・氏名・年齢・性別を明記し、岐阜県文化財保護センターへ

●発掘作業に参加して（その2）

「掘り足りないのは又掘れば良い。しかし、掘り過ぎたのはもう元には戻らない。」と、現場で言われた言葉は、いくつかの示唆を与えてくれるように思った。かねてから私は、ここに柱が立っていた……その集落は何メートルもの壕に囲まれていた……という調査の記録を読んで、何百年も何千年も前に埋没したのにどうして解明できるのかという素朴な関心を持っていた。発掘経験者は土の色が全く違うし、固さも違うと説明してくれた。それでも私には納得できないことが多かった。それならば自分で体験して確かめようとの強い思いで、今回の発掘作業に参加した。日が経つにつれて、私の疑問は少しずつではあるが、解明されていくような気がする。作業の辛さをこえて面白さが湧いてくる。

20数年前に、中央自動車道建設計画に伴う遺跡の発掘調査を経験した。その後、数カ所で遺物の採集を行ってきた。それ以来ずっと考古学に関心があったので、退職を機に発掘に参加することに決めた。作業は自分の好きなことであり、内容も毎日変化があり、地層の見方も学習になることなど満足している。したがって苦しいことはなく、すべて楽しいものである。汗して働くことも楽しい。いろいろな年代の人々との出会いもまた楽しい。



発掘作業風景（美濃加茂）

●日誌

- 3月31日 飛驒出張所開所式
- 4月12日 八幡町勝更白山神社周辺遺跡発掘調査開始
- 4月15日 八幡町文教委員10名勝更白山神社遺跡来訪
- 4月20日 洞戸村底津・飛瀬遺跡「調査始め式」開催
- 4月21日 八幡町立第二小学校児童34名勝更白山神社遺跡にて発掘体験
- 4月22日 丹生川ダム関連西田遺跡「調査始め式」開催
- 4月23日 全埋文中部北陸ブロック法人連絡協議会(高山市)開催
- 4月30日 岐阜県下発掘調査報告会開催
- 5月6日 梶田澄雄岐阜大学教授底津・飛瀬遺跡来訪
- 5月7日 丹生川村村誌編纂委員7名西田遺跡来訪
- 5月11日 国府町荒城神社遺跡発掘調査開始
- 5月13日 東白川村陰地遺跡発掘調査開始
- 5月14日 藤橋村徳山埋蔵文化財「調査始め式」開催
- 5月19日 白鳥町東海北陸自動車道「調査始め式」開催
- 5月26日 八幡町文化財保護協会勝更白山神社遺跡見学
- 6月3日 各務原市船山北古墳群発掘調査開始
- 6月13日 荒城小学校児童保護者80名・飛驒こども考古学会20名西田遺跡発掘体験
- 6月14日 八幡町立西和良中学校生徒30名勝更白山神社遺跡発掘体験
- 6月30日 八幡町立小那比小学校児童15名勝更白山神社遺跡発掘体験

■編集後記

センターの事業量は年々増加するため、昨年度に続いて今年度も職員を増員し組織も拡充されました。特に飛驒地方の調査が活発になったことから、この地域の拠点基地となる出張所を設置しました。地域の皆様の一層のご支援をお願いいたします。

めっきり夏めいて参りました。鮎の友釣りをする人の姿が増えてきた長良川の堤を歩いていると、例年金華山を背景にして繰り広げられる花火の饗宴が待ち遠しくなってきます。皆さんも一度ご覧になったらいかがですか。

